

十和田市事務事業評価シート

【事務事業の概要】

整理番号	②-101	実施計画番号	127	事業開始年度	平成25年度
事務事業名	にんにく生産量強化対策事業			事業終了年度	平成27年度
担当課名	農林畜産課			事務の種類(選択)	自治事務
根拠法令等	関連事務事業				
背景や経緯等	品質の向上及び生産量の増加につなげるため、本市の農家へ販売する優良種子の増殖を行う十和田おいらせ農業協同組合に対し補助を行う。				
事務事業の目的	にんにくの品質と収量を確保するために必要とされる種子の安定供給を図る。				
実施状況	十和田おいらせ農業協同組合がにんにく優良種子増殖事業を行った。それに対し、市から事業費の一部を補助した。				

【人件費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
正職員	従事者数(人)	1	1	
	活動日数(日)	20	20	
	人件費(千円)	720	720	
正職員以外(選択↓)	従事者数(人)			
	活動日数(日)			
	人件費(千円)			

【事業費の推移】

		26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
事業費合計(千円)		900	900	

【指標】

活動指標	活動指標名①		にんにく優良種子の導入			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
	当該年度の導入数量		球	3,000	3,000	
	活動指標名②					
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
成果指標	成果指標名①		にんにく優良種子の導入			
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
			球	目標値	3,000	3,000
				実績値	3,000	3,000
				達成度(%)	100%	100%
	成果指標名②					
	計算式等		単位	26年度実績	27年度実績(見込)	28年度予定
				目標値		
			実績値			
			達成度(%)			

十和田市事務事業評価シート

【担当課による検証】

ポイント		検証(選択)	評価	点数	合計	検証の理由				
妥当性	① 市民ニーズ等から見る妥当性 市民ニーズや時代潮流の変化により、事務事業の役割が薄れていないか	A 薄れていない B 幾分薄れている C 薄れている	A	2	4	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">存在意義の見直しの余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;">農家が安定したにんにく生産を図るため優良種苗の確保が必要であることから、事業の妥当性は十分にあると考えられる。</td> </tr> </table>	存在意義の見直しの余地	0 / 4	農家が安定したにんにく生産を図るため優良種苗の確保が必要であることから、事業の妥当性は十分にあると考えられる。	
	存在意義の見直しの余地	0 / 4								
農家が安定したにんにく生産を図るため優良種苗の確保が必要であることから、事業の妥当性は十分にあると考えられる。										
② 実施主体である妥当性 行政が実施することが妥当か(民間と競合していないか)	A 妥当である B あまり妥当ではない C 妥当ではない	A	2							
有効性	③ 活動指標から見る有効性 活動指標の実績は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2	6	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">成果向上の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;">にんにくの安定生産を目指すために必要な事業である。</td> </tr> </table>	成果向上の余地	0 / 6	にんにくの安定生産を目指すために必要な事業である。	
	成果向上の余地	0 / 6								
	にんにくの安定生産を目指すために必要な事業である。									
④ 成果指標から見る有効性 成果指標の目標達成状況は、順調に推移しているか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A	2							
⑤ 事務事業の見直しの余地 成果を向上・安定させるため、事務事業の見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
効率性	⑥ 事業費の削減の余地 事務手順の見直しや正職員以外での対応により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2	6	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">コスト削減の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 6</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;">十和田おいらせ農業協同組合が行うにんにく優良種子増殖事業に補助することで効果的な実施となっている。</td> </tr> </table>	コスト削減の余地	0 / 6	十和田おいらせ農業協同組合が行うにんにく優良種子増殖事業に補助することで効果的な実施となっている。	
	コスト削減の余地	0 / 6								
	十和田おいらせ農業協同組合が行うにんにく優良種子増殖事業に補助することで効果的な実施となっている。									
⑦ 他の事務事業との統合・連携 類似又は関連事業との統合・連携により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
⑧ 民間委託等 民間委託・指定管理者・PFI等により、成果を下げずにコスト削減は可能か	A コストに無駄がない B 検討の余地あり C 可能である ★ 実施済	A	2							
公平性	⑨ 受益の偏り 現在の受益は公平か。特定の個人・団体に受益が偏っていないか	A 偏っていない B 多少偏っている C 偏っている	A	2	4	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td style="text-align: right;">受益者負担適正化の余地</td> <td style="text-align: center;">0 / 4</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="font-size: small;">近隣にねぎとにんにくの圃場があると、そこから病害虫発生危険性があるため、隔離された場所が必要となるため、個人だと無理があるため、十和田おいらせ農業協同組合への補助は適正である。</td> </tr> </table>	受益者負担適正化の余地	0 / 4	近隣にねぎとにんにくの圃場があると、そこから病害虫発生危険性があるため、隔離された場所が必要となるため、個人だと無理があるため、十和田おいらせ農業協同組合への補助は適正である。	
	受益者負担適正化の余地	0 / 4								
近隣にねぎとにんにくの圃場があると、そこから病害虫発生危険性があるため、隔離された場所が必要となるため、個人だと無理があるため、十和田おいらせ農業協同組合への補助は適正である。										
⑩ 受益者負担の見直しの余地 現在の受益者負担は適切か。見直しの余地はあるか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	A	2							
現在の適性					20 / 20	改善の余地	0 / 20			

【点数化による検証】

当該事業の現在の適性は20点中 **20** 点です。

当該事業の改善の余地は20点中 **0** 点です。

【担当課長による評価】

当該事業の今後の方向性(選択) ※事業終了年度がH27の場合は回答不要 ⇒

方向性の理由 ※事業終了年度がH27の場合は回答不要

今後の具体的な取組方策と狙う効果 ※事業終了年度がH27の場合は、『事業を実施したことにより今後見込まれる効果』を記載してください。

にんにく種子を増殖することで、農家が安い価格で種子を購入することが出来た。